

**平成30年度
鳥取市ボランティア・市民活動センター
事業報告書**

鳥取市ボランティア・市民活動センター

1 ボランティア・団体・個人の活動状況、活動量の調査・登録並びにボランティアのニーズ調査

(1) イベントボランティア、イベント託児ボランティアの登録

イベントボランティア・イベント託児ボランティアの登録を行い、ボランティアのマッチングを行う。()は前年度末

登録種別	登録	依頼件数	参加者
イベントボランティア	38名(36名)	13件/12団体 (11件/12団体)	22名+3団体※ (22名+4団体)
イベント託児ボランティア	24名(23名)	14件/2団体 (16件/3団体)	21名(29名)

※団体は施設への演芸訪問等

(2) 介護支援ボランティア事業

- 業務内容:登録受付、保険加入、ポイント申請受付、募集情報メール配信
- ・登録対象者:介護保険第1号被保険者で介護認定を受けていない方
- ・受入施設:市が指定した高齢者福祉施設、事業所

《登録状況》 * ()平成30年度新規

鳥取	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	計
115(7)	4(0)	3(0)	15(0)	0(0)	2(0)	3(0)	0(0)	7(1)	149(8)

【総括】

昨年度から登録人数4人増。年度ごとに微増状況が続いている。入門講座等で継続した制度の周知を図る。募集情報メール配信は、利用者が3人と少なく、運用の検討が必要である。

(3) ボランティア受け入れ機関ニーズ調査

調査依頼日・・・6月2日(金)

調査施設数・・・224施設(前年度228施設)

回答数・・・127(回答率56.7%) *前年度122(回答率53.5%)

冊子発行(8月)・・・活動入門冊子とっとりボランティア21～募集情報編～

ボランティア受入施設・・・119施設

【総括】

来年度はイベント・託児だけではなく、ボランティアを提供する人と支援を求める人、何を提供できるのか、どんな支援を求めているのか等を把握するシステムを検討する。

2 ボランティア活動を含む市民活動に係る意識調査

○ 市民のボランティア・市民活動に対する意識調査

【総括】

市民活動フェスタの参加者、参加団体の会員を対象に、意識調査を実施予定でしたが、一部の市民対象になってしまったため今年度は未実施とした。
今後、ボランティア登録のシステムが構築した際には実施したい。

3 ボランティアセンター及び鳥取市市民活動拠点アクティブとっどりのPR

- ①情報コーナー(イベント、助成金、講座など)
- ②情報紙「トリボラ通信」の発行 毎月1回 15日発行 34箇所
- ③活動入門冊子[①入門基礎編②募集情報編③活動グループ情報編④NPO編]
- ④メールマガジンの発行 毎月1回 1日発行 購読者数 126名
- ⑤市報、社協だより、新聞、CATV等の活用
- ⑥ホームページの更新
- ⑦ブログ、フェイスブックの更新
- ⑧助成金情報誌の発行 毎月1回 20日発行 100部発行

【総括】

ボランティア・市民活動を広げる機会となるよう、ホームページ、ブログ、フェイスブック等により、ボランティア・市民活動や助成金、イベント、講習会など幅広い情報提供を行った。さらに活動が活発に行われるよう市民に浸透を図るため、ホームページや情報誌の見せ方、設置場所などを検証する必要がある。

4 アクティブとっどりの管理運営・・・【資料1】

- ①団体登録 登録団体 159 団体
- ②会議室の貸出
アクティブ会議室、ボランティア室
- ③専用ロッカー、情報ボックスの貸し出し
[専用ロッカー] 設置数46、利用件数 46件
[情報ボックス] 設置数77、利用件数 47件
- ④備品貸し出し
[液晶プロジェクター] 利用件数 97件
[スクリーン] 利用件数 37件
- ⑤市民活動拠点アクティブとっどり登録団体アンケート調査
実施方法・・・平成30年団体登録更新時に併せて調査
回答団体・・・132 団体

【総括】

市民活動拠点アクティブとっとり登録団体アンケート調査については、団体の現状を把握すると共に、団体の現状をニーズ登録として受け付け、コーディネート業務に活かせるような形で整理し実施する。

5 ボランティア活動を含む市民活動の推進、普及、啓発

○ボランティア・NPO・市民活動養成・研修事業

①はじめてみませんか?～ボランティア入門講座～

センター開催(年36回)

()は前年度末

開催時間帯	回数	参加者
午前の部(10:30～11:45)	16回(17回)	16名(16名)
午後の部(14:00～15:15)	14回(13回)	14名(13名)
夜間の部(19:00～20:15)	6回(6回)	3名(6名)
【土曜日開催】	【4回(6回)】	【4名(2名)】
計	36回(36回)	33名(35名)

【総括】

今年度は予約開催とした。

ボランティアのきっかけづくりの講座として、随時実施する。

分室開催型(各分室年1回×8分室) 講師:センター職員

分室名	開催日時	場所	参加者
気高町	6月8日(金)10:30～12:00	浜村小学校(4年生)	36名
福部町	8月22日(水)13:15～14:15	一般向け	0名
	1月16日(火)10:40～12:00	福部未来学園(3年生)	18名
鳥取	9月11日(火)8:30～13:00	城北小学校(4年生・2回)	64名
鹿野町	9月27日(金)10:45～12:15	鹿野学園(4年生)	21名
河原町	11月5日(月)10:30～12:00	散岐小学校(4年生)	14名
青谷町	12月11日(火)10:35～12:10	青谷小学校(4年生)	32名
用瀬町	2月12日(火)10:30～12:00	用瀬小学校(3年生)	26名
国府町	未実施		
佐治町	未実施		

【総括】

分室と連携を図りながら地域の実情に応じて一般向け講座、小学生を対象とした福祉講座を開催している。若年層からの福祉活動への関心と理解深めるために、今後も実施する。

②地域出前型「はじめてみませんか？～ボランティア入門講座～」

3名以上の要請があれば随時実施 講師:センター職員

No.	依頼団体・機関	開催日時	場所	参加者
1	城北地区公民館	4月24日(火) 13:30～15:00	城北地区公民館	10名
2	城北ボランティア ひまわり隊	8月1日(水) 14:00～15:30	城北地区公民館	32名
3	NPO法人十人十色	3月29日(金) 13:00～14:15	NPO法人十人十色	25名

【総括】

地域に出向くことで、身近な地域の助け合い・支え合い活動の必要性を理解し、活動につながる学習の機会となっている。

地域に応じたテーマで、地域の助け合い・支え合い活動を支援するために、今後も実施する。

③かんたんなレクリエーション講座 年4回

センター開催(年2回)

開催日時/場所	講師	参加者
10月11日(木)13:30～15:00 アクティブとっとり会議室	鳥取市レクリエーション協会 中嶋 久美子 氏	10名
2月7日(木)13:30～15:00 アクティブとっとり会議室	鳥取市レクリエーション協会 圓井 佳子 氏	20名

ブロック別開催(年1回×2ブロック)計2回

ブロック名	開催日時/場所	講師	参加者
南部	6月27日(水)13:30～15:00 河原町老人福祉センター	鳥取市レクリエーション協会 猪迫 由美 氏	14名
西部	8月20日(月)13:30～15:00 鹿野町老人福祉センター	鳥取市レクリエーション協会 井戸垣 佳代子 氏	20名

【総括】

地域サロンや老人クラブの活動を活発にするために、ボランティア育成に必要な技術なので、来年度もボランティア育成のために実施する。

④生活支援ボランティア研修会 年3回

ブロック名	開催日時／場所	テーマ／ゲスト	参加者
西部	7月19日(木)13:30～15:00 気高町老人福祉センター	こども食堂の取り組み ゲスト:中央人権福祉センター 小出 真一 氏	9名
南部	8月23日(木)13:30～15:00 河原町老人福祉センター	地域食堂の取り組み ゲスト:中央人権福祉センター 川口 寿弘 氏	13名
東部	2月26日(火)10:00～11:30 国府町老人福祉センター	防災～技術、知恵を学ぶ ゲスト:ガールスカウト 鳥取県第1団 倉本 弘美 氏	14名

【総括】

地域課題の中から始まった特徴的な活動事例や取り組みについてブロックで研修を行ってきたが、研修会の参加者にはブロックではない地域の方の参加があった。来年度は、ブロックというくくりではなく、全市域を対象とした市民活動に関する研修会(講習会)を実施する。

⑤市民活動のためのチラシ作成ワンポイント講座 年1回

開催日時／場所	講師	参加者
8月22日(水)13:30～15:30 市民活動拠点アクティブとっとり会議室	小谷デザインオフィス 小谷 真之介 氏	9名

【総括】

事前に提出されたチラシをもとに、チラシのどこにポイントを置くのか、チラシの見せ方などの講義、個別指導を行い、すぐに生かせる良い講座だった。広報を自分たちで実施するには必要な講座なので、来年度も技術指導の育成講座として実施する。

⑥NPOなんでも相談会 年12回／月1回 ＊()は前年度末

開催時間帯	回数	参加者
午前の部(10:00～11:30)	4回(4回)	3名(2名)
午後の部(13:30～15:00)	4回(4回)	3名(2名)
夜間の部(18:30～20:00)	4回(4回)	5名(1名)
計	12回(12回)	11名(5名)

- ◇NPO なんでも相談会参加から設立につながった団体
 特定非営利活動法人鳥取県地域観光推進研究所
 特定非営利活動法人美保小児童クラブ第五教室

⑦助成金相談会 年24回／月2回

＊()は前年度末

開催時間帯	回数	参加者
午前の部(10:00～11:30)	8回(6回)	4名(4名)
午後の部(13:30～15:00)	4回(6回)	2名(1名)
夜間の部(18:30～20:00)	12回(12回)	8名(6名)
計	24回(24回)	14名(11名)

- ◇ 助成金相談会参加から申請につながった団体
 ・県社協ボランティア・市民活動助成・・・1団体
 (城北ボランティアひまわり隊)
 ・あいおいニッセイ同和損保プログラム・・・1団体
 (シュービルの会)

⑧市民まちづくり提案事業助成金(市民活動促進部門)

[募集期間]4月2日～5月2日

[審査会の開催]5月23日

[応募団体]ステップアップ型 1団体

[決定団体]市民エネルギーとっとり 助成金額 200,000 円

⑨2018市民活動フェスタ in とっとり

[開催日]11月17日 / [開催場所]高齢者福祉センター

[実行委員会]年4回 実行委員/6名

○参加者:約390名 /参加団体:29団体

○参加者アンケート、参加者団体アンケート集計結果…【資料2】

○実行委員:6名

委員長	竹内房男(山王さん周辺活性化協議会)
副委員長	岡嶋睦夫(湖山池応援団)
委員	尾崎照子(桑の実会) 中川政雄(災害支援ボランティアグループコスモス) 奥谷仁美(鳥取県ユニセフ協会) 小谷美紀(手話サークルたんぽぽ)

【総括】
市民活動フェスタはボランティア・市民活動に係る多種多様な団体の出会いの場、交流の場を提供し、市民のボランティア・市民活動に参加するきっかけづくりを目的に開催しているが、アクティブ登録団体150団体に対し、参加団体が29団体と少なく、目的が達成されていないと思われる。
目的をするためにはどのようにしたらいいのか検討する必要がある。

⑩ボランティア・NPO 交流サロン「とりぼらカフェ」 年3回

毎回テーマを決め様々な課題、問題について活動団体、関係機関、市民が気軽に話し合える場を提供し、団体の活性化や団体相互のネットワークの構築を図るとともにボランティア・市民活動の推進することを目的に開催する。

開催日時/場所	テーマ(内容)	参加者
7月23日(月)13:30~15:30 市民活動拠点アクティブとっとり	「お金～資金調達って何?」 ゲスト:とっとり県民活動活性化センター 寺坂 純子 氏	11名
10月29日(月) ①13:30~15:00 ②19:00~20:30 市民活動拠点アクティブとっとり	「市民活動フェスタ参加団体説明会& 交流会」	32名
1月12日(土)13:30~15:30 市民活動拠点アクティブとっとり	「わいわい交流会」 団体間の情報交換	23名

【総括】
「とりぼらカフェ」は情報交換の場として開催し、団体同士の新たな出会いやつながりを深める機会となっている。今後は団体だけではなく、一般市民の参加や様々なテーマ、方法で、回数を増やすなど、より充実させる必要がある。

⑪こんにちは!!とりぼら訪問隊

団体名	訪問日
桑の実会	平成30年 6月26日(火)
手話サークルたんぼぼ	平成30年 6月27日(水)
えねみら・とっとり	平成30年 7月 1日(日)
鳥取環境市民会議	平成30年 8月18日(土)
鳥取県木材工業研究会	平成30年12月 6日(木)
多言語国際交流サポート TIA	平成30年12月18日(火)
城北ボランティアひまわり隊	平成31年 1月25日(金)

【総括】

訪問記録は、情報紙、フェイスブックなどで情報発信を行っている。

団体の活動の様子を広報することで、広く市民に団体を知ってもらい、団体の活動の活性化や、会員の増加にもつながっている。引き続き訪問を行い団体の活動を広め支援する。

6 ボランティアの相談・活動紹介

○ボランティア・市民活動等の相談窓口

(1) ボランティア・市民活動等の相談窓口

相談内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1[活動先紹介(団体・施設)]	2	3			3						1	1	10
2[助成相談]	5	2		1	1	6			1		1	1	18
3[保険相談]	5	2	3			1	4	1	2				18
4[ボランティア募集]	1										1		2
5[NPO(任意・法人)]	2		1	1	1								5
6[団体登録・アクティブ]	3	1				1				1	1	1	8
7[介護ボランティア]	1	2								1			4
8[団体紹介]		5	4	2	2	3	2						18
9[その他]	1	7	1	2	2	3	2	3	2	1	3	1	28
計	20	22	9	6	9	14	8	4	5	3	7	4	111

(2) マッチング件数(4月～3月末合計)

種類	件数	種類	件数
1〔個人-個人〕	0	5〔団体-施設〕	3
2〔個人-団体〕	3	6〔企業-団体〕	5
3〔個人-施設〕	4	7〔企業-施設〕	0
4〔団体-団体〕	4	8〔その他〕	3
合計			22

【総括】

各種相談について、必要に応じて関係機関と連携を図りながら行っている。相談内容や対応等を記録し、職員間で情報共有しながら支援しているが、コーディネートの強化を図るためには、相談内容を整理する必要がある。

7 その他ボランティアセンターの目的を達成するために必要な事項

○運営委員会の開催(年2回開催)・・・運営委員9名

開催日時	内容	出席者
8月10日(金) 13:30～15:00	・平成30年度事業実施状況について ・平成31年度事業概要(案)について	9名
3月4日(月) 13:30～15:00	・平成30年度事業実施状況について ・平成31年度事業計画(案)について	7名

○ボランティア・市民活動センター事業の事業評価アンケート

【総括】

事業評価を参考にしながら改善した点として、相談会等の予約制、QRコードの活用、助成金の案内など行った。
事業評価を参考にしながら、来年度、各種講座の開催や幅広い広報活動を通じて広く市民のボランティア・市民活動の推進を図る。

8 鳥取市社会奉仕活動等補償制度の登録及び受付窓口

市民が安心してボランティア活動に取り組める環境体制の整備にともなう補償制度の理解、登録加入促進、迅速な事故処理に努める。市と協力して、関係機関、活動団体(者)に制度の周知徹底を図る。

(1) 鳥取市社会奉仕活動等補償制度(*保険料は市が一括して負担)

No.	区分	内容	内訳
1	公共的活動	市及び公共的団体が主催する行事、催し物、運動等の活動のうち、市民が参加する活動で日帰りのもの。 (市民体育祭、各種イベントなど)	126主催団体 57, 227名
2	社会奉仕活動	自らの利益を目的とせず、無報酬(実費弁償を除く)で労力を提供する活動で日帰りのもの。	772グループ 348, 152名

※事故発生件数

保険種別	公共的活動	社会奉仕活動	計
件数	13 (取り下げ1)	10 (取り下げ1)	23 (取り下げ2)

(2) ボランティア活動保険及び行事用保険(全国社会福祉協議会)

No.	区分	内容	内訳
1	ボランティア活動保険	自発的な意思により他人や社会に貢献する無償ボランティア活動	加入者数1, 051名 (災害ボラ121名)

※事故発生件数5件

9 その他各種会議・研修等・関係機関への参加

(1) 県社会福祉協議会関係

- ・ボランティアコーディネーター養成研修(8月21日)
- ・県ボランティア・市民活動センター運営委員会(11月29日)
- ・県ボランティアセンター強化方策検討委員会(6月4日、8月30日)

(2) とっとり県民活動活性化センター関係

- ・とっとりイーパーツリユースPC寄贈プログラム審査会(8月3日)
- ・社会人・若者ボランティア(プロボノ)推進事業審査会
(7月24日、7月30日)
- ・あいおいニッセイ同和損保助成プログラム審査会(2月8日)

(3) その他

- ・これからの20年間、社会に貢献できる支援者を目指す人のための踏み込んだ支援と協働に関する合同研修会(岡山市:4月20日、21日)